

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成25年7月12日

【四半期会計期間】 第8期第3四半期(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

【会社名】 株式会社ウエストホールディングス

【英訳名】 West Holdings Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 吉川 隆

【本店の所在の場所】 広島県広島市西区楠木町一丁目15番24号

(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

【電話番号】 (03)5358-5757(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員財務経理部長 椎葉 栄次

【縦覧に供する場所】 株式会社ウエストホールディングス 東京支店

(東京都新宿区西新宿三丁目20番2号)

株式会社大阪証券取引所

(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第7期 第3四半期 連結累計期間	第8期 第3四半期 連結累計期間	第7期
会計期間		自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日	自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日	自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日
売上高	(千円)	16,678,939	34,843,086	25,763,752
経常利益	(千円)	529,608	3,668,383	1,286,891
四半期(当期)純利益	(千円)	150,254	1,915,234	891,541
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	144,839	1,973,632	868,334
純資産額	(千円)	2,968,599	5,255,924	3,691,582
総資産額	(千円)	16,385,192	26,167,027	18,452,509
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	11.12	141.52	65.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	11.02	140.26	65.39
自己資本比率	(%)	17.8	19.9	19.8

回次		第7期 第3四半期 連結会計期間	第8期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日
1株当たり四半期純利益	(円)	5.08	39.77

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権下での経済政策、所謂「アベノミクス」においても太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーについて積極的な推進方針が出され、再生可能エネルギー関連事業は拡大を続けております。

このような状況の中、当社グループは、「再生可能エネルギーの全量買取制度」及び「環境関連投資促進税制」等、再生可能エネルギー推進のための積極的な政府施策の影響を受け、産業用太陽光発電システムの需要が飛躍的に拡大することを見込んで、成長分野である太陽光発電システムを取り扱うグリーンエネルギー事業へ経営資源を集中的に投下してきております。

また、従来より行っている住宅用太陽光発電システムのアフターサービス・メンテナンス業務に加え、市場が急速に拡大しているメガソーラー及び産業用太陽光発電システムのO&M（オペレーションアンドメンテナンス）事業も積極的に推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は348億43百万円（前年同四半期比108.9%増）、営業利益を41億93百万円（前年同四半期比527.1%増）、経常利益を36億68百万円（前年同四半期比592.7%増）計上し、四半期純利益を19億15百万円（前年同四半期は1億50百万円）計上いたしました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### グリーンエネルギー事業

従来からの住宅用太陽光発電システムの販売・施工（B to C事業）については、新年度（4月）から国の補助金制度の変更等により、多少利益率が減少したものの、メガソーラーを含む産業用の太陽光発電システムの需要は好調に推移いたしております。

以上の結果、売上高は335億81百万円（前年同四半期比132.8%増）、営業利益は46億40百万円（前年同四半期比539.1%増）となりました。

#### エコリフォーム事業

エコリフォーム事業については、従来からの計画に従い人材を一層成長分野であるグリーンエネルギー事業に集中したために売上高が減少しております。

以上の結果、売上高は12億45百万円（前年同四半期比44.4%減）、営業利益は11百万円（前年同四半期比96.8%減）となりました。

#### その他

その他事業の売上高は15百万円（前年同四半期比18.9%増）、営業利益は11百万円（前年同四半期比27.0%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、77億14百万円増加し、261億67百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比61億50百万円増加し、209億11百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比15億64百万円増加し52億55百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加34億89百万円、完成工事未収入金等売上債権の増加20億98百万円、未成工事支出金の増加19億87百万円並びに原材料及び貯蔵品の増加2億19百万円によるものであります。

負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金、工事未払金の増加17億84百万円、未成工事受入金の増加3億63百万円、未払法人税等の増加11億5百万円、前受金の増加3億85百万円、借入金の増加25億13百万円によるものであります。

純資産の増加は、四半期純利益の計上19億15百万円、配当金の支払4億5百万円によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当社グループは、グリーンエネルギー事業において太陽光発電モジュールやパワーコンディショナーの製品安全試験及び性能試験等を行っております。

当第3四半期連結累計期間における研究開発費は、24百万円でありました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	31,274,000
計	31,274,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,541,850	13,609,350	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	13,541,850	13,609,350		

(注) 提出日現在発行数欄には、平成25年7月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日	1,500	13,541,850	59	2,017,916	59	600,303

(注) 発行済株式総数の増加及び資本金の増加並びに資本準備金の増加は、新株予約権の行使による増加であります。

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成25年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,483,400	134,834	
単元未満株式	普通株式 50,050		
発行済株式総数	13,540,350		
総株主の議決権		134,834	

## 【自己株式等】

平成25年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ウエストホール ディングス	広島県広島市西区楠木町 一丁目15番24号	6,900		6,900	0.05
計		6,900		6,900	0.05

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年9月1日から平成25年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、九段監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,959,258	9,449,039
受取手形及び売掛金	269,373	647,808
完成工事未収入金	5,375,019	7,094,762
商品	1,391,526	2,105,426
販売用不動産	82,809	82,259
未成工事支出金	711,024	2,698,272
原材料及び貯蔵品	1,882	221,794
繰延税金資産	326,043	224,843
その他	1,021,362	719,382
貸倒引当金	58,999	105,838
流動資産合計	15,079,301	23,137,750
固定資産		
有形固定資産	1,895,478	1,310,896
無形固定資産		
のれん	164,314	54,065
その他	114,623	108,010
無形固定資産合計	278,938	162,076
投資その他の資産		
投資有価証券	590,964	853,444
長期貸付金	159,608	135,092
繰延税金資産	131,606	113,174
その他	679,768	870,357
貸倒引当金	363,156	415,765
投資その他の資産合計	1,198,791	1,556,303
固定資産合計	3,373,207	3,029,276
資産合計	18,452,509	26,167,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,447,103	4,089,461
工事未払金	1,693,051	1,835,554
1年内償還予定の社債	177,000	177,000
短期借入金	4,838,310	6,508,170
未払法人税等	135,058	1,240,143
賞与引当金	30,073	70,260
その他	1,568,499	2,406,212
流動負債合計	10,889,095	16,326,801
固定負債		
社債	334,500	195,000
長期借入金	3,435,859	4,279,057
資産除去債務	12,783	16,996
繰延税金負債	-	5,523
その他	88,688	87,726
固定負債合計	3,871,831	4,584,302
負債合計	14,760,926	20,911,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,017,767	2,017,916
資本剰余金	724,995	725,144
利益剰余金	965,611	2,474,881
自己株式	6,142	9,738
株主資本合計	3,702,232	5,208,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,522	5,146
その他の包括利益累計額合計	54,522	5,146
新株予約権	947	920
少数株主持分	42,925	41,654
純資産合計	3,691,582	5,255,924
負債純資産合計	18,452,509	26,167,027

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	16,678,939	34,843,086
売上原価	11,628,123	24,871,185
売上総利益	5,050,816	9,971,901
販売費及び一般管理費	4,382,124	5,778,604
営業利益	668,691	4,193,296
営業外収益		
受取利息	2,614	7,234
受取配当金	2,800	2,850
受取手数料	64,951	94,339
貸倒引当金戻入額	9,499	-
その他	8,694	25,032
営業外収益合計	88,560	129,456
営業外費用		
支払利息	122,751	121,504
為替差損	30,704	452,204
貸倒引当金繰入額	-	52,608
持分法による投資損失	26,536	3,249
シンジケートローン手数料	35,898	20,084
その他	11,753	4,717
営業外費用合計	227,643	654,369
経常利益	529,608	3,668,383
特別利益		
関係会社株式売却益	447	-
持分変動利益	-	1,145
特別利益合計	447	1,145
特別損失		
固定資産除却損	1,156	-
固定資産売却損	-	140,377
減損損失	-	7,331
投資有価証券売却損	6,000	-
投資有価証券評価損	30,139	-
訴訟関連損失	83,000	-
特別損失合計	120,296	147,708
税金等調整前四半期純利益	409,759	3,521,819
法人税、住民税及び事業税	114,043	1,485,702
法人税等調整額	144,147	122,154
法人税等合計	258,191	1,607,856
少数株主損益調整前四半期純利益	151,568	1,913,963
少数株主利益又は少数株主損失( )	1,314	1,271
四半期純利益	150,254	1,915,234

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,568	1,913,963
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,729	59,669
その他の包括利益合計	6,729	59,669
四半期包括利益	144,839	1,973,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,525	1,974,903
少数株主に係る四半期包括利益	1,314	1,271

**【継続企業の前提に関する事項】**

該当事項はありません。

**【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	該当事項はありません。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	CONEX INNOVATION株式会社は、第1四半期連結会計期間において、CONEX HYUNDAI INNOVATION株式会社へ社名変更しております。また、CONEX HYUNDAI INNOVATION株式会社は影響力が低下したことにより、持分法適用の範囲から除外しております。 第2四半期連結会計期間において、CONEX HYUNDAI INNOVATION株式会社の全株式を売却いたしました。

**【会計方針の変更等】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

## 【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
減価償却費	120,401千円	90,967千円
のれんの償却額	168,836千円	109,872千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月25日 定時株主総会	普通株式	269,626	30.00	平成23年8月31日	平成23年11月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月27日 定時株主総会	普通株式	405,965	30.00	平成24年8月31日	平成24年11月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	グリーンエネ ルギー事業	エコリフォー ム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,426,575	2,239,038	16,665,614	13,325	16,678,939		16,678,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	14,426,575	2,239,038	16,665,614	13,325	16,678,939		16,678,939
セグメント利益	726,043	371,085	1,097,129	8,713	1,105,842	437,151	668,691

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材業者への材料販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 437,151千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	グリーンエネ ルギー事業	エコリフォー ム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,581,996	1,245,242	34,827,238	15,847	34,843,086		34,843,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	33,581,996	1,245,242	34,827,238	15,847	34,843,086		34,843,086
セグメント利益	4,640,079	11,926	4,652,006	11,068	4,663,075	469,778	4,193,296

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、手数料収入等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 469,778千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	11円12銭	141円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	150,254	1,915,234
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	150,254	1,915,234
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,507	13,533
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	11円02銭	140円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(千株)	123	121
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月12日

株式会社ウエストホールディングス

取締役会 御中

### 九段監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士 大 網 英 道
指定社員 業務執行社員	公認会計士 宮 島 博 和
指定社員 業務執行社員	公認会計士 杉 山 一 雄

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウエストホールディングスの平成24年9月1日から平成25年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年9月1日から平成25年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウエストホールディングス及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。